

まきば 人生の牧場

学校通信 第10号 令和8年 3月 24日

発行 北海道夕張高等学校

〒068-0536 夕張市南清水沢3丁目49番地

TEL・FAX 0123-59-7808

URL <http://www.yubari.hokkaido-c.ed.jp/>

生徒たちの活動をぜひ、Webページ、

Instagramでもご覧ください。



夕張高校Webページ



夕張高校 Instagram

今年度を振り返って

校庭の雪も例年より早く解け始め、夕張の山々には春の息吹が感じられる季節となりました。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動に対し、多大なるご理解とご協力を賜りましたこと、心より感謝申し上げます。

今年度を振り返りますと、生徒一人ひとりが本校のキャッチフレーズである、Challenge More Spiritを体現してくれた一年であったと感じています。少人数だからこそ、一人ひとりの役割は大きく、重いものです。しかし、本校の生徒たちはその重圧を力に変えてくれました。学校行事や部活動、そして探究活動において、皆さんが見せた真剣な眼差しは、まさに夕張高校の誇りです。

特に、地域課題に向き合い、夕張の未来を共に考えた活動では、驚くような発想が見られました。これは、皆さんがこの歴史ある街の物語を継承しつつ、自らの手で、そして足で新しい時代を切り拓こうとしている証拠です。

校長 熊谷 孝宏

さて、進級を控えた皆さんに伝えたいことがあります。それは「不確実な未来を楽しむ」という姿勢です。私たちは今、正解のない時代を生きています。時には迷い、立ち止まることもあるでしょう。しかし、夕張高校で培った「多様な価値観を認め合い、対話を通じて答えを探す力」は、必ずや皆さんの確かな力となります。

春休みは、次なるステージに向けた助走期間です。心身を整え、次の年度にどのような景色を描きたいか、ゆっくりと思いを馳せてください（そのためには、読書もオススメです）。

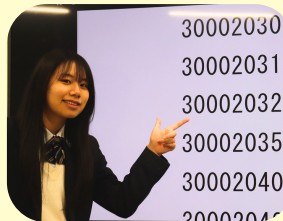
最後になりますが、本校はこれからも地域と共に歩み、生徒が「この学校で学んでよかった」と胸を張って言える教育を追求してまいります。今後とも変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。

生徒の皆さんの未来に、幸多からんことを願って。

よこがお

【北海道教育大学に合格】

きのした まつり
木下 茉鞠 さん



今号の「よこがお」は、北海道教育大学釧路校に推薦入試で合格した木下茉鞠さんです。

木下さんは特別支援教育に携わりたいと考え、特別支援教育を学べる上に、伝統的にへき地教育の研究に力を入れてきた北海道教育大学釧路校を志望したそうです。

2年生のインターンシップでは夕張高等養護学校で貴重な体験をし、さらに総合的な探究の時間には同校と連携した活動を企画しました。その中で特に印象に残っているのは、紙すきの作業です。木下さんはグループのメンバーと共に、夕張の特産品「バリミツ」の包装紙をデザインし、作成するプロジェクトを牛乳パックを集めることから始め、実施しました。

大学卒業後は養護学校の教員を目指しているという木下さん、彼女の情熱と取り組みは、将来の教育現場で大いに役立つことでしょう。

1学年公共「夕張市議会傍聴」

12月4日（木）、1学年公共において夕張市議会を傍聴しました。将来の主権者として、夕張市議会の活動を理解し、まちづくりに参加する意識を高めることを目的に実施しました。

議会では、夕張高校魅力化事業について、住み続けられる夕張の将来像についてなど、私たちに身近な内容が多く話し合われていました。

生徒からは「私たちにも関わりがある内容が多くあり驚いた」や、「議会の中で新たな発見があった」などの声がありました。

今回、このような機会をいただいた夕張市議会議員、議会事務局の皆様、お忙しい中、ご対応ありがとうございました。



第2学年総合的な探究の時間 「年度末報告会」

2月25日(水)5・6校時、本校体育館にて第2学年総合的な探究の時間「年度末報告会」を行いました。今年度は「未来の夕張を考える」をテーマに、9グループに分かれて夕張市の地域課題を解決する企画を立案してきました。今回の報告会では、これまで取り組んできた探究活動のまとめ、今後どのような企画を実施していくか等について報告をしました。

報告会には、夕張市役所の方をアドバイザーとしてお招きし、来年度の企画実施についての助言をいただきました。

次年度、企画を実施するにあたり、地域の方のご支援をいただく場面があるかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。



「ゆうぱり寒太郎まつり」 ボランティア同好会の活動

2月22日(日)、ボランティア同好会は、「ゆうぱり寒太郎まつり」においてボランティア活動を実施しました。

受付や抽選会の手伝い、本校宣伝ブースでの説明などに携わりました。また、参加していた三笠高校地域連携部の皆さんと活動を共にして、親睦を深めることができました。

地域のイベントに参加することと、本校をPRする良い機会となりました。



離任される先生方より



あかまつ ひろたか

赤松 広隆 教諭(地歴・公民)

〔富良野高校へ〕

私が夕張高校に赴任したのは平成31年4月で、もう7年もの月日が経過しました。

担任として、陸上競技部やボランティア同好会の顧問として、地域の方々の温かな応援にどれほど救われてきたか分かりません。皆様の支えこそが、この学校の宝でした。

夕張高校での生活の中で1つだけ心残りがあります。それは、今担任をしている1年生の卒業をこの地で見届けられないことです。彼らがどのように成長し、2年後どのような頼もしい姿で巣立っていくのか、富良野の地から見守りたいと思います。

夕張高校には個性豊かで、心優しく、地域の力になろうとする生徒がたくさんいます。彼らの活動が地域の活力になると信じておりますので、これからもご協力いただけますと幸いです。よろしくお願いいたします。

これからも、夕張高校を陰ながら応援しています。7年間、大変お世話になりました。ありがとうございました。

わたなべ

渡邊 ちひろ 養護教諭

〔任期満了→岩内高校(新採用)へ〕

この度、岩内高校で採用となり、夕張高校を離任することになりました。

1年間という短い期間ではありましたが、大変お世話になりました。毎日新しい学びと喜びに溢れ、素敵な1年を過ごすことができました。

養護教諭になって初めての学校で、至らない点も多かったかと思いますが、保護者の皆様をはじめ、地域の方々に温かく支えていただき、感謝の気持ちでいっぱいです。夕張高校の皆さんをこれからも応援しています。

新天地でもさらなるご活躍を!



行事予定

3月 25日(水) 春期講習(～27日)
26日(木) 入学者選抜第2次募集
(実施の場合登校禁止)

4月 8日(水) 着任式・始業式・入学式
10日(金) 新入生歓迎会
11日(土) 3年総合学力記述模試・4月
13日(月) 一斉委員会(前期)・個人写真撮影
15日(水) 自転車通学開始
17日(金) PTA総会
18日(土) 3年看予備模試①
20日(月) 胸部X線・心電図検査(1年生)

